

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

## 回答率

事業所職員： 8名回答、回答率 100%  
保護者様： 23名回答、回答率 100%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

新しいスタッフや他教室からの応援スタッフでの対応が多いため、生徒に慣れていないこともあり、生徒の情報共有をより緊密にしていく必要がある。

### ○業務改善

職員の希望に合わせて研修への参加を促している。また管理者・責任者研修で得た情報は、教室内ミーティングで全員に共有している。PDCAサイクルの実施はなかなか実行できていないが、保護者向け評価表・アンケート調査で得られた情報をもとにできるところから改善に努めている。

### ○適切な支援の提供

生徒や保護者のニーズをもとに個別支援計画を作成。さらに個別課題や集団活動プログラムを作成・実行している。職員は日々の記録をとり、それを翌日以降のミーティングで共有することで生徒の状態や問題点・支援の改善策等について意見を出している。

### ○関係機関や保護者との連携

障害のない子ども達との交流をおこなう機会は今現状ないものの、相談支援事業所の会議には担当者が参加し、職員全員で情報共有をおこなっている。

### ○保護者への説明責任等

保護者会や地域住民の招待等の事業運営はなかなか難しいが、日々のサービス提供記録や送迎時の会話で、教室での様子を伝えることに留意している。

### ○非常時等の対応

非常時の災害マニュアルに基づき、毎月災害に備えた避難訓練を実施している。また食物アレルギーに関しては年一回確認を更新するとともに「飲食可・不可」の生徒一覧を作成し、おやつ提供時に確認できるようにしている。

## 保護者様のご意見

### ○環境・体制整備

わずかな間で多くのスタッフがいらなくなっていることに対して不安を感じているとの意見や、安定した体制の要望が見られた。

### ○適切な支援の提供

デイサービス計画および活動プログラムに対しては、多くの保護者から満足しているとの評価をいただくことができた。一方で障害のない子どもとの交流がないことへの指摘もあり、これに関しては「交流をして欲しい」とともに「そうした交流は望んでいない」と両方の意見が出されていた。

### ○保護者への説明等

支援内容や子どもの状況についての説明、助言等についてはおおむね肯定的な意見が出されていた。しかし保護者会の開催が滞っていることへの指摘や、「教室内で他害があった場合は双方の家庭に伝えてほしい」「口頭での連絡が多く、伝えていないことがあるのではないか」との意見も見られており、今後改善していく必要性を感じた。

### ○非常時等の対応

毎月実施している避難訓練については、記録で伝えていることもあって周知されていることがほとんどだったが、緊急時対応や感染症等対策マニュアルが策定されていることがあまり伝わっておらず、今後丁寧な説明をおこなっていかなければならない。

### ○満足度

多くの保護者様から、「子供たちは楽しみにしている」「支援に満足している」との評価をいただいたが、送迎に関して「融通が利かないことがある」とのご指摘もいただいた。今後より満足していただけるよう活動内容や利用日について検討していきたい。



## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

一人ひとりに合わせた支援の計画を作成し、個別課題やプログラムの実施をおこなっている。また相談支援事業所や学校との連携で、生徒の情報を日々アップデートして対応をおこなうことができる。

### ○改善点

- ・保護者会を実施し、教室での様子についてより丁寧なご説明をおこなっていく。
- ・スタッフの増員と定着を図る。
- ・放課後児童クラブ等、障害のない生徒との交流を計画する。



## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

- ・保護者会を実施し、生徒の姿について説明を行うとともに、保護者同士の交流を深めていく。
- ・面談時や送迎時、さらに保護者会などにおいて得られた情報をもとに保護者支援をおこなう。
- ・行事への参加等、地域のコミュニティとのかかわりを深めていく。

### ○1年間で取り組む具体策

- ・多くの方に参加していただけるような保護者会を企画検討する。
- ・送迎時の会話や相談の内容を記録しておき、ミーティングで取り上げることで、職員全体でチームとして生徒対応・支援を考えていくようにする。
- ・地域のコミュニティや障害のない児童生徒との交流を図っていく。

# スマートキッズ